

# 日本のこころの源流を探る 研究会（第1期自啓・共創塾）について

一般社団法人世界のための  
日本のこころセンター



# 趣旨

いま世界では、覇権大国の対立、民族や宗教の対立、地域紛争、社会や政治の分断、格差の拡大などがすすみ、人々のところには不安が増えています。

これからの人類社会には、このような不安を乗り越える希望のビジョンが必要です。世界を見渡すと、そのヒントは「日本のところ」の中にあるのではないのでしょうか。

不確実で揺れ動く社会にあって、真の自己を確立していくためには、世代を超えて継承された人類普遍の智慧や民族の文化を身体全体で習得し、自らのアイデンティティに確信を持つことが不可欠です。

本研究会では、これまでの歴史を通じて築かれてきた「日本のところ」について、参加者同士が相互啓発を通じて学びを深めるとともに、未来の世界や社会の在り方について日本ならではの夢（ビジョン）をどう描くべきか、共創の試行を始めてみたいと考えます。

# 研修の狙いと参加対象

- ・ 研究会の性格  
参加者の相互啓発に資する塾形式の研究会
- ・ 研究会の狙い
  - 1 教材資料自体の充実・改善  
参加者の提案により第二版に向けて改善を図る
  - 1 講師や教師の自己研修  
若い世代に接する指導者の養成等に資する
  - 1 若い世代の自啓・共創  
参加者の自己啓発の機会として貢献する
- ・ 参加対象は、研究会の趣旨に賛同する方  
企業社員、経営者、非営利組織スタッフ、現役・OB  
主婦、自由業・・・  
教育関係者、教師、塾教師、大学生、中高生等・・・

# 期待効果

- 「日本のこころ」が、広く周りの環境や社会だけでなく、世界のために貢献できる人類的普遍性を持つことが理解できる。
- 自らのアイデンティティを確立し、社会や世界に立ち向かうこころの基盤が構築できる。
- 世界中の人と共鳴し合い、共有できるこころの準備が整う。
- 新しい世代が「日本のこころ」に気付き、世代を超えて高めながら受継いでいく流れに参画できる。



# 定員・期間・会場

**定員：** 15名

※他に、コーディネータやテーマに応じアドバイザーから数名が、参加し、世代間の対話を通じた相互啓発、夢の共創に資する

**期間：** 2020年5月～12月 15回  
月2回 原則第二と第四土曜日  
14:00～16:00

**会場：** 世界のための日本のこころセンター日本橋事務所  
他に、大手町3×3 Lab Futureサロン（オープン発表会）

# コーディネータ

- **土居征夫** 世界のための日本のこころセンター代表理事

元通商産業省生活産業局長、退官後政府系金融機関理事、民間企業役員、シンクタンク理事長、大学特任教授等を経て、現在は武蔵野大学客員教授、日本信号顧問、在家禅の会師家

- **根本英明** 世界のための日本のこころセンター共同代表 事務局長

日本能率協会に於いて、人材開発分野の大会、研究会、セミナー等の企画開発運営に携わった後、月刊「人材教育」編集長を約10年務める。2006年に自在（株）を設立し、現在に至る。

# アドバイザー（調整中）

- 田村哲夫 渋谷教育学園理事長
- 原 丈人 アライアンスフォーラム財団代表理事
- 古橋和好 ウェルビーイング研究所代表
- 尾崎 哲 野村アセットマネジメント会長
- 荒木 勝 岡山大学名誉教授・東京逍遥塾塾長
- 露木順一 元日本大学教授 元開成町長
- 杉山呼龍 人間禅師家・禅フロンティア主管
- 栗原康剛 株式会社テクノアソシエーツ社長
- 飯倉 竜 Japan Culture and Technology株式会社代表取締役
- 神田 淳 高知工科大学客員教授
- 上本洋子 自在株式会社
- 降旗洋平 日本信号株式会社会長
- 水田宗子 国際メディア・女性文化研究所理事長
- 近藤誠一 TAKUMI Art du Japon代表理事 元文化庁長官
- 月尾嘉男 東京大学名誉教授
- 施 光恒 九州大学大学院教授

# 進め方

- 参加者間の意見交換を中心に、気づきと相互啓発の機会とし、各人の主体的な学びに資していくアプローチを採ります。
- 用意した教材：討議用参考資料（第一版）を参考に、参加者自身の考えをまとめて当日披露頂き、コーディネータを交えた意見交換を通じて、全員が相互啓発を図るとともに、第二版の作成に向けて、教材：討議用参考資料の充実に資していきます。

※別に、希望者には、一般参加の成果発表イベント及び現地視察・学習のための五感塾（水戸、群馬、栃木、福島）等に参加頂きます。また、宗教宗派によらない一般人のためのオープン坐禅会の体験（椅子坐禅も可）もして頂きます。



# プログラム（15回）

- 第1回 開講式・オリエンテーション  
世界が期待する日本のこころとは
- 第2回 日本のこころを育んだ源流に何があるのか  
（神仏儒習合、禅・Zen、和漢洋の思想について）
- 第3回 地球環境の保全と人類の共生を支える  
日本のこころ（神道について）
- 第4回 政治哲学と社会倫理の基盤にある日本のこころ  
（孔孟思想と陽明学・日本の儒教について）
- 第5回 日常の生活習慣が構築する日本のこころ  
（マンガ、働き方、礼と型、女性活躍）



# プログラム

- 第6回 武士道 眞のサムライとは？  
（剣道・弓道・合気道等に見る日本のこころ）
- 第7回 明治維新の立役者の生きざまを支えたもの  
（西郷隆盛・勝海舟・山岡鉄舟）
- 第8回 聖徳太子の和の精神から  
世界・人類共生への日本のこころを考える
- 第9回 匠の道、茶道、書道、日本美術、文学等から  
日本のこころを探る
- 第10回 幕末から明治につながった実学と平等・民権  
の思想

# プログラム

- 第11回 世界に貢献する日本型産業の精神の源  
(公益資本主義の展開、石田梅岩・渋沢栄一等)
- 第12回 グローバル化時代における日本語の大切さ
- 第13回 世界に求められる日本型リベラルアーツとは
- 第14回 人工知能 (AI) の時代の人間力とは
- 第15回 これからの世界・社会に立ち向かう日本の夢  
(ビジョン) を考える

# 参加費・募集

参加費：未定

I 種会員 1 回 3 ～ 4、000 円

(テキスト、飲食物代、事務運営費等を含む)

II 種会員 15 回全会参加の場合  
3 ～ 5 万円

募 集： 募集開始中

5 月上旬まで、希望者の募集と登録